

● 7月6日(木) 相生から帯広・花畑牧場 晴れ

・4時起床。外は快晴。

昨日の硫黄山・シレットコスミレで今年の「北海道山紀行」も完結を見た。あとは明後日(8日)に苦小牧からフェリーで帰るだけだ。これから帯広へ出て襟裳岬を回って苦小牧へ行こうと思う。今日は帯広の先の中札内にある花畑牧場の本社へ行ってみようと思う。生キャラメルで一大ブームを起こした田中義剛氏経営の花畑牧場は、一時は東京都内にも店を出すほどの生キャラメルブームを起こしたが、そのブームも去り、今ではほとんど見なくなった。夕張に10年前に開設した花畑牧場へは私は毎年のように行っているが、年々さびれてきて、現在、工場は閉鎖され、今では店だけは残って生キャラメルを売っているが、開店当時の賑わいの面影も無い。現在も健在と聞く田中義剛氏経営の花畑牧場の本社はまだ行ったことが無いので、ぜひ行ってみたい。

・ゆっくり朝食をとってから9時すぎに道の駅「ウトロシリエトク」を後にした。あんなに沢山泊まっていた車はみんなどこかへ出て行ってしまい、広い駐車場には私の車とキャンピングカー一位しか残っていない。

・昨年登った斜里岳を目の前に見ながら西へと車を走らせた。車は昨日林道を走ったので砂埃まみれだし、山で着た衣類は汗まみれで汚れたまま積んであるし、これらをなんとかしたい。以前清里駅に行った時、駅前に水道があり洗車した記憶がある。よし 清里駅に行こうとナビ頼りで走っていたら、清里駅を通らずに国道433号線をまっすぐ走って美幌町へ来てしまった。ウトロではあんなに天気良かったのにここ美幌町では雨が降っている。津別への道は結構な雨の中を走らされたが国道240号線を更に南下して道の駅「あいおい」に着いたころには雨も上がり、夏空が広がって来た。



・道の駅「あいおい」に来たのは久しぶりだ。以前とぜんぜん変わっていない。ふと見ると水道がある。やったね。早速汗まみれの衣類の洗濯、そして洗車。真夏の太陽が照りつける中、水仕事は実に快適だ。洗濯物を車にぶら下げて天日干し。

11時を過ぎたので腹がへって来た。「あいおい」と云えば「そば」。とろろそばを食ったが、メチャ腰が強くて旨かった。

・車に戻ると北海道道路管理のおじ様2人が話しかけてきた。神奈川から来て毎年北海道をずっとまわっていること、今年は幌尻岳に登り、知床の硫黄山でシレットコスミレを見てきたことなどをお話した。しばらくいろいろお話して分かれたが、鯛焼きを半分いただいた。あんこが甘くて旨かった。

・そうこうしているうちに12時を回った。

洗濯物もだいぶ乾いてきたしそろそろ出かけるか。



・阿寒温泉方面へ南下したが、道は良いし、車は全く走っていないし、天気はガンガンだし、時速 80km の快速走行で、阿寒湖へは寄らずに足寄へ向かった。久しぶりで道の駅「銀河ホール足寄」に寄ったが、相変わらずあまり面白くない駅で、駐車場が分かり難くて使いづらい。道の駅はすぐ出て、足寄 IC から高速に乗って帯広をめざした。



・道路には真夏の太陽が照りつけていて、走っている車は 1 台もない。私の専用道路だ。時速 90km で快調にとばして帯広方面へと進み、中札内 IC で下りて道の駅「中札内」へ 3 時過ぎに着いた。初めて来た駅だが、きれいで広くてすいていて、なかなか良い駅だ。駅舎の人に「花畑牧場」を訪ねると、まだ 8km も先だそうだ。もう 3 時を過ぎているし、急いで花畑牧場をめざして車を走らせた。

・広い畑の真ん中にログハウス風のデカイ建物が数軒建っている。花畑牧場だ。なるほど、夕張の花畑牧場で見慣れた景色だ。もちろんこっちのほうが本陣だけあって規模がデカイ。キャラメル工場からチーズ工場まである。今日は平日で 16 時を過ぎているので遅いからなのかお客さんはチラホラしかいない。



・まずショップへ入って今回のお土産を購入した。クッキーやポップコーンなど色々な種類のお菓子が揃っている。今回のお土産はすべてここのお菓子で賄うことにした。



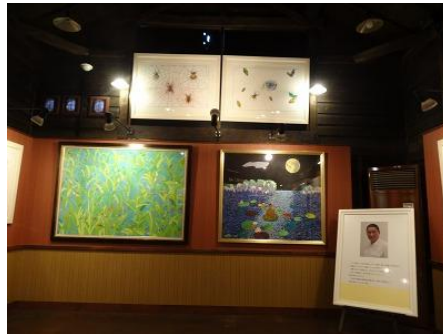
今は稼ぎ頭のチーズの棚

・夕張の「北野武美術館」にあった「たけしの絵画」がここに持って来られたと聞いたので「どこにあるのですか」と聞いたら、裏の方に案内された。何だこれは！！ 馬小屋を改造した汚い木造の小屋が「美術館」だった。中も板壁に白熱灯の照明。展示してある絵画の数も夕張美術館の 10 分の 1 ほどだ。

夕張の「北野たけし美術館」に比べると、月とすっぽんの差がある。夕張でさんざん見せていただいた「たけしさんの絵」を久しぶりに見て、懐かしさを覚えると同時に感激した。



北野武美術館入り口



・今日の予定も全て済んだ。今夜は道の駅・中札内で泊まる。道の駅に戻って車を止め、まだ 17 時を過ぎたばかりだが、前にある芝生の広場のベンチで夕食に取り掛かった。天気は良いし風も無い。昼間は 30℃ 近くあった気温も陽が陰るとぐっと涼しくなり、木陰の芝生のベンチは最高だ。虫がいるかと思ったが全くいない。快適な環境で申し分ない。



まだ明るい 19 時前に夕食もすんだが、広い駐車場に車はチラホラしかない。昨日泊まった道の駅「ウトロシリエトク」の混みよと比べると、別世界にいるようだ。そろそろ寝るか。今夜ここに泊まるのは私と札幌ナンバーの車とあと数台だけかな。静かに寝られるな。



・前にも書いたが、この駅には初めてきたが、施設は多いし、公園があり広くてきれいだし、トイレは数が多くて全て洗浄便座、泊まっている車は少ないしなかなか良い道の駅だ。ただ温泉が無いので入浴には苦労しそうだ。

● 7月7日(金) 襟裳岬から三石へ 晴れ

・4時15分起床。外は快晴、陽の光がまぶしい。周りには10台位の車が泊まっている。まだどの車も寝ているらしく人の気配が無い。静かで気持ちの良い朝を迎えた。



明日の夕方に苫小牧東港からフェリーで帰宅の途につくので、まだ今日、明日と丸々2日間ある。今日は三石に泊まるか。今回の北海道山紀行で幌尻岳に登った時にも泊まっておき、風呂もあるし、レストランもあるし最後の晩を過ごすには良い所だろう。

・のんびり朝飯を食べて7時半に道の駅「中札内」を出た。まず出てすぐ南にある道の駅「更別」へ。初めてきた駅だが、こじんまりして寂しい駅だ。車もいない。



・更に直ぐ南にある道の駅「忠類」へ。久しぶりで来た懐かしい駅だ。昔とほとんど変わっていない。広くて設備が充実していて、やはりすごく立派な道の駅だ。車も沢山止まっている。ホテル(アルコ 236)があり、温泉があり、ナウマン公園、ナウマン記念館などがあって楽しい。パークゴルフ場も完備していて、プレーしている人で混雑している。賑やかな道の駅だ。

・中札内から忠類まで田園の中を走ったがこれがまたすごい！  
広大な田園風景の中を走る。延々と続くジャガイモ畑、トウモロコシ畑、麦畑、野菜類の畑と見渡す限り広がる様々な種類の畑の中を舗装道路がまっすぐに延びている。天気は良いし、車ほとんど通っていないし、誰にも邪魔されることなく自分の思うままに車を走らせられるので、時速 50km の低速走行で景色を楽しみながらのんびり走った。



・道の駅「コスモール大樹」を 9 時に出て国道 336 号線（黄金道路）を襟裳岬に向けて走ったが、これがまた素晴らしい。左手に雄大な太平洋を見ながら延々と海岸線を走るが、車はほとんど走っていない。景色の良い所では道端に車をとめて写真を撮りながら、美しい景色を一人占めして気ままに走った。フンベの滝に寄って、黄金道路の碑で景色を眺め、途中の浜では昆布干しの真っ盛りの中を走った。



フンベの滝



黄金道路の碑



昆布干しが真っ盛り

・襟裳岬に入る少し前に「百人浜」という広い駐車場があり、展望塔があったので寄ってみた。

・立派な展望塔があるが、ほとんど誰も来たことが無いような寂しい所で、展望できる景色もどうって  
いうこと無い。



・11時に襟裳岬に着いた。さすがに風が強いが快晴なので絶景が素晴らしい。

襟裳岬は何回か来ているが、今回は時間があるのでゆっくりしてみた。襟裳岬灯台から襟裳岬突端まで歩き、さらに階段を下って海岸突端の神社跡の鳥居まで歩いた。道端や岩壁にはエゾカンゾウやオグルマ、オオハナウド、ハナエンドウなどの花々が咲いていて、爽やかな風に吹かれながら1時間余の散策を楽しんだ。



・襟裳岬を後にして、襟裳国道を今日の宿泊予定の三石に向けて北上した。懐かしいアポイ岳入口を通過し、様似町を通り、浦河町の市街を抜けて、2時過ぎに道の駅「みついし」に着いた。太陽が照りつけて暑く気温27℃もあるが、けっこう湿度が低くさらっとしているので涼しさを感じる。



・まず楽しみにして来た「蔵三」の風呂へ飛び込んだ。客はほとんどいない、ガラガラ。貸し切り状態の温泉を十分楽しんだ。

・今日は今年の北海道山紀行の最後の夜になるので、レストランで晚餐会をしても良いのだが、風呂上がりの5時前から飲み始めたので、愛車の荷台のレストランで自前の夕食を始めてしまった。車もだんだん増えて来て隣近所の車でも夕餉が始まって来た。





・大阪の歌手「松本マサ子」が唄う「大阪トンビ」のプロモーションで北海道を回っているという浜松の車がすぐそばに止まった。この曲の作詞家「海峡わたる」というおやじが奥さんと二人で回っていて、今日この三石に来たという。車の両面には「大阪トンビ」「松本マサ子」の派手なポスターが貼ってある。



このおやじを中心に数人が集まって飲み始め、作曲談議や作詞談義などいろいろな話で大いに盛り上がり楽しい夕食となった。最近の道の駅は、キャンピングカーが増えて来て皆さん車の中で過ごすので、宿泊車どうしの交流がほとんど無くなりつまらなかったが、今夜はなんだか私がこの北海道山紀行を始めた10年位前と同じような雰囲気道の駅の夜を味わって大変楽しかった。

こうして今年最後の夜は良い気分で終わった。7時過ぎ就寝。